

大広フェムテック・フェムケアラボと産後リハビリプロジェクト、 「10月10日産後リハビリの日」第2回シンポジウム開催決定 ～第2回産前産後ケアシンポジウムかながわと同時開催～

一般社団法人日本リハビリ協会（事務局：神奈川県厚木市、代表理事：片野秀樹）は、株式会社大広（本社：東京都港区、代表取締役社長：泉恭雄、以下「大広」）の大広フェムテック・フェムケアラボと、産後の環境の課題解決に取り組む企業間プロジェクト「産後リハビリプロジェクト」の一員として、昨年引き続き世の中の産前産後を取り巻く課題のアップデートを目的に「10月10日産後リハビリの日」シンポジウムを2024年10月10日（木）に開催します。

2022年11月に生まれた「産後リハビリプロジェクト」(<https://sungo1010.jp/>)は、当事者や周りの方が正しい知識や選択肢に出会い、生涯にわたる健康とQOL（生活の質）の向上、子どもの健全な成長につながるよう、企業同士でもっと応援する目的で生まれたプロジェクトです。

産前産後を取り巻くサービスや情報提供を検討・実践されている企業やメディアの方々を対象に、神奈川県、神奈川県未病産業研究会の協力、一般社団法人日本疲労学会、一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム後援のもと、社会啓発活動の一環として本シンポジウムを開催します。

今年のテーマは「「はたらく」と産前産後」。様々な役割を果たす女性が増える中で、産前産後の実情に基づいた課題を可視化して向き合うべく、大規模調査をもとに『産前産後 10の重要課題 2024』として定め、発表。また事業として当該領域に取り組んでいる企業の取り組み事例や、有識者による講演、情報を通じ社会課題に取り組むメディア企業の取り組みも紹介します。

【シンポジウム概要】

開催場所： 東京都港区芝 2-14-5 株式会社大広 東京オフィス 6F ラウンジ
開催日時： 2024年10月10日（木）15:00～17:30（開場 14:30）
申込締切： 2024年10月7日（月）18:00
応募方法： 専用フォームにてお申し込み（事前登録制）
<https://cocamp.daiko.co.jp/webinar/241010-sangorecovery>
開催形式： 現地参加/オンライン視聴のハイブリット開催
参加費： 無料

【開催概要】

プログラム	◆開会挨拶：神奈川県 ◆基調講演：東京医療保健大学医療保健学部看護学科・助産学専攻科 米山 万里枝先生 ◆「産前産後 10の重要課題 2024」発表 ◆産後リハビリプロジェクトの取組 -産後リハビリ白書について -企業間パネルディスカッション ◆他団体連携について ◆閉会挨拶・名刺交換（リアル会場のみ）
-------	--

共催・協力・ 後援	【共催】産後リハビリプロジェクト、株式会社大広 【協力】神奈川県、神奈川県未病産業研究会 【後援】一般社団法人日本疲労学会、一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本シンポジウムは第2回産前産後ケアシンポジウムかながわと同時開催です。 ・応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。 ・プログラム内容は、一部変更になる場合がございます。 <p>※取材をご希望の報道関係の方は、以下広報事務局までお問合せください。 産後リハビリプロジェクト事務局担当：株式会社大広宛 E-mail : sungo@daiko.co.jp</p>

(昨年のシンポジウムの様子)



【10月10日産後リハビリの日 啓発活動実施の背景】

「産後リハビリプロジェクト」では、出産直後から心身ともに多忙になる「産後のお母さん」が自分の心と体をいたわれて、支える家族や周囲の人、社会がお母さん自身の疲労にも目を向けるきっかけの日となることを願い、10月10日を「産後リハビリの日」と制定しました。日付は妊娠期間をいう言葉「十月十日（とつきとおか）」に由来し、「妊娠から出産までと同じくらいの産後期間、心と体のリハビリも大切にしてほしい」との思いを込めています。「産後の課題」は一つ一つが複雑に絡み合い、時代や環境変化にも大きく左右されます。毎年、産前産後の実情に基づいた課題を可視化して向き合うべく、大規模調査をもとに「産前産後 10 の重要課題」を制定。調査結果をもとに、社会啓発活動を行います。

【産後リハビリプロジェクト 賛同・協賛企業】※2024年9月現在

株式会社ベネクス、タカラベルモント株式会社、株式会社大広（大広フェムテック・フェムケアラボ）、SOMP Oひまわり生命保険株式会社、プレミアアンチエイジング株式会社、株式会社ポーラ、株式会社ビ・マーク、日本トイザラス株式会社、塩野義製薬株式会社、アサヒ飲料株式会社、三菱地所株式会社

【産後リハビリプロジェクト 概要】

出産後の母体のダメージは想像よりも大きく、大きなけがと等しく回復が必要な状態にあるにもかかわらず、「産後」は赤ちゃんのケアだけに目がいき、ママ自身のケアは後回しになりがちです。「産後リハビリプロジェクト」は、この出産後の女性（夫婦/パートナー）に対する、リハビリのためのサービスや情報、環境が不足している現状に着目し、「ママの心身のリハビリ」、「産後リハビリの文化づくり」の推進を通して、日本の子育ての環境が向上することを目指して 2022 年 11 月に日本リハビリ協会を主催として発足。同じ未来を目指す企業や団体が参画、活動するプロジェクトです。



産後リハビリ
プロジェクト

【大広フェムテック・フェムケアラボ 概要】

大広フェムテック・フェムケアラボは、2020 年に社内 R&D から始動し 2021 年に正式組成した、日本の広告会社初フェムテック領域専門チームです。性別やライフステージ、拠点や職能の違う多様なメンバーを要し、女性のヘルスケアやウェルビーイング課題のインサイト発掘および企業の事業開発やコミュニケーション支援を実施。その先のジェンダー・イノベーションも見据えて、一人ひとりが自分の心と身体について正しく知り・気づき・対処することや選択肢が当たり前となり、生きやすい社会の創造の実現に向け、マーケティングで培った力を還元し活動するチームです。

【株式会社大広 概要】

所在地：東京都港区芝 2-14-5

代表取締役社長：泉 恭雄

設立：1944 年 2 月 28 日

事業内容：事業開発領域、コミュニケーション活動全般を支援する広告会社

ホームページ：<https://www.daiko.co.jp/>

大広は企業のパートナーとして、企業の未来をつかっていく存在でありたいと考えています。そのために当社では企業と顧客と社会の真ん中にある「顧客価値」というキーワードを大切にしてきました。

パートナーとして企業に伴走し、顧客を見つめ、寄り添い、深く知ることで、かけがえのない「顧客にとっての価値」を創造することが私たちの提供価値です。顧客の賛同を得ることで、企業の成長をサポートし、社会をより良い方向へと向かわせるお手伝いできればと思います。

【一般社団法人日本リハビリ協会 概要】

所在地：神奈川県厚木市中町 4-4-13 浅岡ビル 4 階

会長：渡辺恭良（神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科特命教授、理化学研究所生命機能科学研究センター名誉研究員/客員主管研究員、大阪公立大学健康科学イノベーションセンター顧問、大阪市立大学名誉教授、一般社団法人日本疲労学会理事長、一般社団法人脳体力振興協会理事長、一般社団法人日本リハビリ協会会長）

副会長：水野敬（神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 特命教授、理化学研究所生命機能科学研究センター 客員主管研究員、大阪公立大学健康科学イノベーションセンター 特任教授/センター副所長、一般社団法人日本疲労学会 理事）

顧問：大谷泰夫（神奈川県立保健福祉大学 理事長、元内閣官房参与）

松木秀明（東海大学 名誉教授、健康評価施設査定機構 理事）

代表理事：片野秀樹 博士（医学）（博慈会老人病研究所客員研究員、Genki Vital Academy 顧問）

提携：ゲンキ・バイタルアカデミー（ドイツ）

URL：<https://www.recovery.or.jp/>

【リハビリの定義】

心身の活動能力の減退した機能を回復し、休養をもって生理的・心理的資本である活力を蓄えて次に備えることであ

る。

【調査報告書「産後リカバリー白書 2023」について】



ページ数：144P

販売価格：非売品

発刊時期：2024年3月5日

編著者：一般社団法人日本リカバリー協会

監修：産後リカバリープロジェクト

※当法人もしくは産後リカバリープロジェクトにご入会いただいている企業様・自治体様に、
会員特典として配布を行っております。

【調査報告書についての詳細・お問い合わせ先】

<https://www.recovery.or.jp/sangohakusyo/>

<報道関係者お問い合わせ先>



一般社団法人日本リカバリー協会 広報事務局

担当：柴山 TEL：070-1389-0172

メール：shibayama@netamoto.co.jp